

殺人破獄の兄弟が 磐崎村に潜伏

ウラヂオから逃げ来つて 昨日逮捕さる

福島縣石城郡磐崎村小林長吉（一）同弟長松（三）の兩名は去る大正十五年八月オホ一ツク海の富山縣人萩布駒藏の經營する漁場に漁夫としてやどはれた當時待遇問題について論議の末兩名が協力して萩布を殺害し、廉でウラヂオにて五年の懲役に處せられ三ヶ年服役して破獄逃走最近敦賀に上陸何食はぬ顔で兩人は郷里に歸つて潜伏中を追跡し來つた函館署員が之を探知し昨日逮捕函館に押送し近く函館地方裁判所において公判が開かれることとなつた

五分の増収

刈取りを開始

石城郡下の麥作状況は播種以來天候順調にして發育も頗る良好に進み肝腎な出穂期に於て暴風雨等の被害絶無であつた結果豫想外に早生し既に刈り取を開始したが前年度に比較し約五分の増収が見越されてゐる

各濱が賑ふ

六湊の海上で

石城郡に於ける小名濱、豊間、四倉、江名等の各濱は

意すべき事項如何と願する諸問事項を提出し各主事の意見を聴手する等で講習會には本縣社會教育主事會根三郎氏の青年訓練の本旨より教練料と題する講演あり十時間半に亘り實地教練を行ふが教官は中學校配屬將校である

古河炭礦が 防水壁施設

巨費を投じて

石城郡好間村古河炭礦では先年町田堅坑の水没廢坑後同所坑口附近に斜坑を開鑿し堅坑潰滅以前同様採炭操業を續けてゐたが同礦では前回の出水に鑑み將來これ等の災禍を根本より除去すべく巨費を投じてドイツ

誠意の有無が 合併解決の分岐點

菊地日銀支店長語る

磐城銀行と平銀行との合併に腐心してゐる菊池日銀支店長は本店と打ち合せのため十五日午前九時五十四分發上京したが出發に先き立つて語る「磐城銀行の合併



梅雨期の 食物防腐

醬油は梅雨期になると、そ

兎の耳

珍汽車の散歩 十日午後十時三分 水戸線六六三貨物列車が友部驛で四

近頃羨しい 商賣の一つ

平驛呼賣りの 氷菓屋の賣上

數日來の暑さに平驛あたりでも汗だくの旅客が目まぐるしいざわめきを見せる様になつて來たので一般市中では未だ氷菓、アイスクリーム屋の店先を賑はす程にはなつてゐないが驛頭の呼び賣アイスクリーム屋は十四日の如き盛夏の様な繁忙を見せ各列車毎に間に合はない有様だつたが賣上は十四日のみで八十圓に達してゐたと云ふから一つ十五圓で五百三四十賣れた譯となり近頃うらやましい商賣の一つである

面倒に ならう資産

の表面に盛んに懲が浮びますが、これは布で漉すとよろしい、又唐辛子を入れておくと、比較的微が出ません。

牛乳の腐敗を防ぐには、瓶の蓋をしたまゝ冷水の中に浸しておくことです、又瓶を布で蔽ひ水の上に乗せて

兎に角 今の處平常

と何等異り無之候間新聞の餘り當てならぬことを不取敢御報申上候早々

鈴蘭會の 音樂演奏

藤田校にて

平町田町郵便局表通り菊重石炭木炭店に於てヴァイオリン及びマンドリンを一般同好者に教授して居る岩田久夫氏、大久保静江女史に依つて組織されるスマラン音樂普及會にては來る廿三日午後二時半よりと午後七時からとの二回に亘り藤田裁縫女學校に於て音樂演奏會を開く由

奉天は平常と 何等異り無之候

奉天在住小澤章成氏音信

元平町役場助役吉田三郎氏の女婿で現に奉天琴平町に居住せる小澤章成氏が最近吉田氏に寄せられたる奉天の近況左記の如くにて同地は陸軍及び警察の警備が全く完全し目下の處平常と變り無く何等の心配はないが一種の嵐の前の静さであらうと陳者去る四日早朝當地に於て突發したる列車爆破事件の動機に日支人間至る處流行甚語盛んに宣傳せられ其爲の不安 情報は遠く

今この處 何等の不安

無之候間不取敢御安神被下度候只支那四百餘州の第一

何事か 勃發するな

情を日本に對して發現するや計り難く近き將來には

手足を 失ひたる彼

の胸中や察するに餘りあるところに候、列車爆破の主犯人が日本側に非らずとも昨年以來事毎に日本に對して反感を持つ彼れは此の災難に依て如何なる感情を日本に對して發現する

日章旗 の前には何

事をか能く成し得んやと意氣丈けは達者に候間御安心願上候ごうせ乗り出した大洋の舟ですから荒波に凌はれる位ひは覺悟致し居り候間至つて呑氣に候然し十中八九は何事もなく納ま